

埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画定期レポート

こんにちは、昨年の8月よりメキシコに埼玉県代表として留学させていただいています、渡辺航大と申します。先日、帰国日も決まり、一年間の留学生活が終わりに近づき寂しさも感じています。メキシコは治安など様々な問題を抱えた国ではありますが、今回の留学生活を通じ、自分にとって大切な国になりました。

先月のレポートでは、メキシコ国内の日本語教育の実情について書きました。今回のレポートでは、それに関連して、メキシコシティで日墨協会（*asociación México Japonesa*）が定期的に行っているお祭りについて書きたいと思います。先月末に春祭りが開催されたので、自分も友人と一緒に参加してきました。このお祭りでは、日本食を食べることが出来たり、様々なステージ発表があったりと日本に興味のあるメキシコ人はもちろん、日本人も多く参加する催しになっています。実はメキシコ到着後に一度参加したことがあったのですが、その時と比べて今回は参加者が非常に増えているように感じました。チケットを買うのに1時間、入場するにも1時間ほどかかり、日本への関心がメキシコで増しているのかなと感じました。後日、主催者側の方とお話する機会があったのですが、予想を遥かに超える入場者だったようで午後6時半の終了前に、準備していた日本食がなくなってしまったようです。

お祭りでは、メキシコ人から声をかけて頂き日本人としてとてもうれしく感じました。しどろもどろになりながらも日本語を使って接客していただいたりと、日本語や日本文化を体験、理解しようとする姿勢に感動しま

した。



このようなイベントに参加すると前回のレポートにも書いた、メキシコから見た日本文化というものが少し理解できる気がします。お祭りでは、「日本では地下鉄に携帯電話を置き忘れても誰も取らないっていうのは本当か」とメキシコとの違いを質問されました。こちらで日本語教育に携わっていると、この外国から見た日本文化というものを理解する必要があると日々感じています。メキシコ人から話を聞くと、日本の良い部分だけを切り取り完璧な国と考えている方も多いです。行ったこともない国に偏ったイメージを持つのは、日本人も同じでよくメキシコなんて危ない国でよく勉強できるねと言われたりもします。しかし日本語教育に携わっている以上、日本の良いところも悪いところもしっかり学習者に伝えられるようになりたいと思います。メキシコで日本に関する質問をされても上手く答えられないこともあります。こちらに来て、自分の国や国の歴史に関しての勉強不足を実感しました。

ぜひメキシコに限らず海外に行った際には、日本文化のイベントなどに参加してみるとその国から見た日本のイメージが垣間見え、楽しいかもしれません。